

クマタカ

学名	Spizaetus nipalensis (Hodgson,1836)	
目名	タカ目	
目名学名	FALCONIFORMES	
科名	タカ科	
科名学名	Accipitridae	
カテゴリー	大分県： I B (EN)	環境省： I B (EN)



[選定理由]

生息地である森林の伐採・開発や、針葉樹への樹種変換などにより、エサとなる動物が減少し、生息環境が悪化している。営巣木となる高木が減少している。また、剥製や飼育のための捕獲圧も高い。

県内分布	県内全域の森林部に生息する留鳥。
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州の山地の混交林に生息する留鳥。
世界的分布	中国南部, 台湾で繁殖, 留鳥, タイ, マレーシアで越冬。日本に生息する亜種クマタカ (S. n. orientalis) は日本固有亜種。
生息環境	山地のよく茂った森林に生息し, 林内でノウサギ, ヤマドリ, 小鳥類を捕食する。巣は, 針葉樹の高木に造る。
現 状	県内の生息個体数は, 数十羽程度と推定される。剥製や飼育のために捕獲され, 県内の密猟グループが摘発された事例がある。
備 考	ワシントン条約附属書II, 国内希少野生動植物種, 希少鳥獣